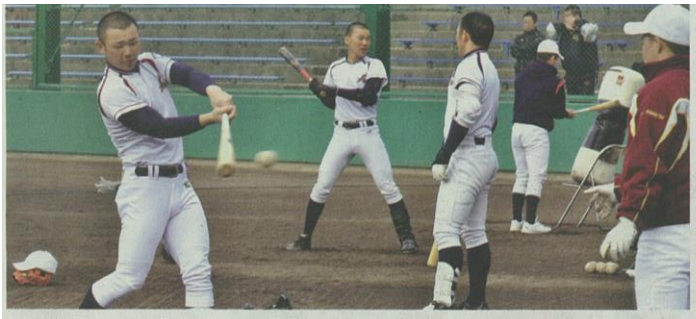
２０１６年（平成２８年）３月２５日　金曜日

デーリー東北新聞　１１面　掲載

第88回選抜高校野球大会
―第5日

第88回選抜高校野球大会に出場している八学光星、青森山田のナインは24日、それぞれ午前中の練習で汗を流した。センバツ初勝利を目指す青森山田は、25日の初戦を前に最後の調整。26日の２回戦で８強入りを狙う光星も、気合十分に体を動かした。（一戸康成）

８強へ光星気合十分、青森山田いざ初戦



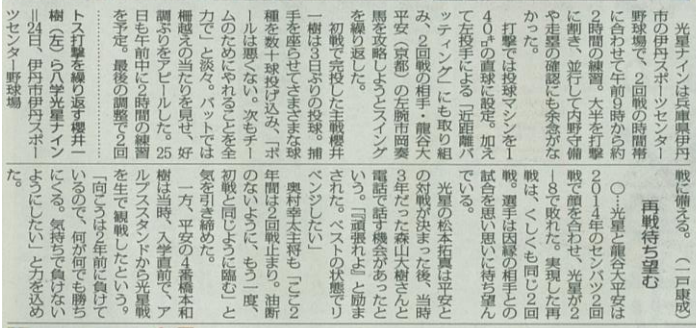
打撃陣 市岡攻略へ

光星 守備確認も余念なく

光星ナインは兵庫県伊丹市の伊丹スポーツセンター野球場で、２回戦の時間帯に合わせて午前９時から約２時間の練習。大半を打撃に割き、並行して内野守備や走塁の確認にも余念がなかった。

打撃では投球マシンを１４０キロの直球に設定。加えて左投手による「近距離バッティング」にも取り組み、２回戦の相手・龍谷大平安（京都）の左腕市岡奏馬を攻略しようとスイングを繰り返した。

初戦で完投した主戦櫻井一樹は３日ぶりの投球。捕手を座らせてさまざまな球種を数十球投げ込み、「ボールは悪くない。次もチームのためにやれることを全力で」と淡々。バットでは柵越えの当たりを見せ、好調ぶりをアピールした。２５日も午前中に２時間の練習を予定。最後の調整で２回戦に備える。（一戸康成）



トス打撃を繰り返す櫻井一樹（左）ら八学光星ナイン＝24日、伊丹市伊丹スポーツセンター野球場

再戦待ち望む

○…光星と龍谷大平安は２０１４年のセンバツ２回戦で顔を合わせ、光星が２－８で敗れた。実現した再戦は、くしくも同じ２回戦。選手は因縁の相手との試合を思い思いに待ち望んでいる。

光星の松本拓真は平安との対戦が決まった後、当時３年だった森山大樹さんと電話で「話す機会があったという。「『頭張れよ』と励まされた。ベストの状態でリベンジしたい」

奥村幸太主将も「ここ２年間は２回戦止まり。油断のないように、もう一度、初戦と同じように臨む」と気を引き締めた。

一方、平安の４番橋本和樹は当時、入学直前で、アルプススタンドから光星戦を生で観戦したという。「向こうは２年前に負けているので、何が何でも勝ちにくる。気持ちで負けないようにしたい」と力を込めた。

対戦校監督に聞く

光星・仲井監督

ワンチャンスを確実に

変化球どう攻略するか

龍谷大平安・原田監督

２回戦のポイントを語る八学光星の仲井宗基監督＝伊丹市

26日の２回戦で対戦する八学光星と龍谷大平安（京都）。２０１４年のセンバツ以来の再戦となる光星の仲井宗基監督と平安の原田英彦監督に、相手の印象や試合のポイントなどを聞いた。（聞き手・一戸康成）

―初戦を見て、相手の印象は。

仲井監督　明徳義塾を相手に、名門を圧倒した試合運びや力強さだけでなく、隙のない走塁に守備と、本当にレベルが高い。

原田監督　３年連続出場の常連校で、毎年強打というイメージがある。今大会も普段通りに戦っており、非常に元気がある。

―２年前の対戦では平安が８－２で完勝した。

仲井監督　初回に５点取られ、投手の起用が裏目に出た形だ。ただ、選手は完全に入れ替わっており、当時を気にすることはない。

原田監督　あの時はまず、相手の守備をどう崩すかを考えた。たまたま初回に５点を取れたから勝てた試合だった。

―警戒する選手は。

仲井監督　初戦で２番連続本塁打を放った４番と５番。２人に長打を打たれない攻め方をしたい。

原田監督　昨秋と打順が変わったが、１番と３番の左打者、足が速く、塁に出すと神経を使う。

―試合の鍵は。

仲井監督　エースの市岡奏馬君は素晴らしい投手。ただ、制球を乱すことがあり、そのワンチャンスを確実にものにしたい。

原田監督　櫻井一樹君の多彩な変化球をどう攻略するかだろう。展開は予測がつかない。互いに投手の出来に懸かっていると思う。

―互いに親交がある監督同士の対戦となった。

仲井監督　私とはキャリアが全然違い、尊敬する方。ただ、今回は勝負なので「胸を借りる」「勉強させてもらう」とは思わない。

原田監督　うちから八戸学院大に進学する選手もおり、古くから付き合いがあるので、正直、あまり敵とは見られない部分もある。

センバツの便り

初戦の空気、いい経験

光星⑧菊池大海（３年）
＝中堅手、左翼手、大阪・亀井中出

初戦は張り詰めた空気の中でやれて、いい経験になりました。試合には出ませんでしたが、ベンチから相手投手の癖や配球を観察して、出場している選手に伝えていました。

宿舎は吉村健汰と同じ部屋で、テレビで他のチームの試合を見ています。「ここで打ったらどうなるんだろう」と想像するのが楽しいです。追い込まれた後にノーステップを徹底していた、秀岳館（熊本）の打線に興味を持ちました。

次も出番があるかどうか分かりませんが、しっかり準備をして、チーム一丸で絶対に勝ちたいです。

デーリー東北新聞社提供